



2016年6月14日



第1回 日本サービス大賞
優秀賞(SPRING賞)

企業向け安全運転支援サービス『スマイリングロード』が 「第1回 日本サービス大賞 優秀賞 (SPRING賞)」を受賞

損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：西澤 敬二、以下「損保ジャパン日本興亜」）は、サービス産業生産性協議会（代表幹事：秋草 直之）主催の「第1回 日本サービス大賞」において優秀賞（SPRING賞）を受賞しました。

この賞は、国内の全てのサービス事業者を対象に、今まで見たこともない独創的なサービスや人々に感動を呼ぶようなサービスなど、“きらり”と光る優れたサービスを表彰する日本で初めての表彰制度です。今回、853点の応募のなかから、内閣総理大臣賞、地方創生大臣賞、厚生労働大臣賞、農林水産大臣賞、経済産業大臣賞、国土交通大臣賞、優秀賞（SPRING賞）、審査員特別賞の計31点が選ばれました。

『スマイリングロード』はドライブレコーダーのIoT技術を活用し、ドライバー本人と企業の管理者に運転診断結果や危険運転操作などの情報をフィードバックし、ランキングや独自ポイントを利用した「ほめる」仕組みにより、継続的なドライバーの安全運転意識向上や管理者の効率的な指導を支援するサービスです。事故発生後のサービスが中心であった損害保険業界において、事故を未然に防ぐという新たなアプローチで、「見える」「わかる」「ほめる」のサイクルを作りドライバーに対して持続的に安全運転を喚起する工夫を行っている点が、革新性・独創性のあるサービスとして評価いただけました。

損保ジャパン日本興亜は、『スマイリングロード』で蓄積したノウハウを活かし、2016年1月には個人向けポータブル版として『ポータブルスマイリングロード』の提供を開始しました。今後も事故対応やリスクコンサルティングに関するノウハウとビッグデータ解析などの先進技術を活用して機能を拡充させていくことで、お客さまの安心・安全・健康に資する最高品質の商品・サービスの提供を行っていきます。

以上